

アイヌ語の「オペレペレケブ」（川口がいくつにも分かれている川）が転訛したものといわれている。

十勝最大の食と音楽のイベント
「とちマルシェ」↓



↑世界で唯一！「ばんえい競馬」

「愛の国から幸福へ」の →
フリーズで人気「幸福駅」



■主なイベント

- おびひろ氷まつり（1～2月） ○おびひろ平原まつり（8月）
- 勝毎花火大会（8月） ○帯広まちなか歩行者天国（6月～9月）
- とちマルシェ（9月） ○おびひろ菊まつり（10月～11月）
- フードバレーとちマラソン（10月～11月）

■特産品・グルメ

- ばれいしょ・ながいも ○ハム・ソーセージ ○スイーツ
- 豚丼 ○とち牛じゃん麺 ○中華ちらし
- 十勝ポロネーゼ ○十勝アヒージョ ○とちハヤシ

■観光名所

- 帯広競馬場 ○とちむら ○真鍋庭園 ○紫竹ガーデン
- 北の屋台 ○愛国駅 ○幸福駅 ○八千代牧場 ○緑ヶ丘公園
- 明治北海道十勝オーバル ○おびひろ動物園



↑紅葉が彩るまちなかを疾走！
「フードバレーとちマラソン」



↑帯広名物「豚丼」



帯広のスイーツ→

帯広市は、豊かな自然環境と快適な都市機能とが共存し、自然の豊かさと暮らしやすさをともに実感できる道東の中核都市です。

広大な大地や豊富な農畜産物など、地域の強みを活かしながら、「フードバレーとち」の旗印のもと、誰もが夢と希望を持つことができるまちの実現を目指しています。

また、温室効果ガスの削減など高い目標を掲げて先駆的に取り組む「環境モデル都市」や、地域のバイオマスを活用して産業創出とエネルギーの地域循環の強化を目指す「バイオマス産業都市」に国から認定されており、農業・環境・エネルギーに関する取り組みを一体的に進めています。

アイヌ語の「オトブケ」（毛髪が生ずるという意）から転訛したもので、音更川、然別川など河川がたくさん流れているところから付けられたと言われている。



十勝川白鳥まつり 彩凧華
（1月下旬～2月下旬頃）



道の駅おとふけ「なつぞらのふる里」

■主なイベント

- 十勝が丘展望台シーニックカフェ（7月上旬～9月下旬頃）※
- 「花風景」ハナックと花ロード（6月下旬～7月下旬頃）※
- モール温泉夢ポータル鑑賞会（7月上旬～7月中旬頃）※
- みのり～むフェスタ（10月上旬頃）
- オータムフェスタ in 十勝川（10月下旬～11月下旬頃）※
- 十勝川白鳥まつり 彩凧華（1月下旬～2月下旬頃）

※は実施検討中

■特産品

- 音更大袖振大豆 ○小豆 ○にんじん ○ブロッコリー ○小麦粉 ○なたね油
- チーズ・バター ○すずらん和牛 ○音更ら～麺（ブロッコリー麺）
- 十勝川モール温泉化粧品・入浴剤 ○ワイン

■観光名所

- 十勝が丘公園（花時計ハナック） ○十勝エコロジーパーク
- 家畜改良センター十勝牧場展望台・白樺並木 ○十勝が丘展望台
- 道の駅おとふけ「なつぞらのふる里」 ○道の駅ガーデンスパ十勝川温泉

町村の中では全道一の人口を有する活気に満ちたまちです。

国内有数の生産高を誇る小麦・大豆・小豆・てん菜・馬鈴しょ・にんじん・ブロッコリーなど、数々の農産物を産み出す豊かな大地と、北海道遺産にも選定された「モール（植物性）温泉」が湧き出す十勝川温泉があります。

また、市街地には、大型商業施設や飲食店、コンビニなど様々な商店があるほか、各種医療施設、社会福祉施設など、日常の生活環境が整っています。

さらに、道東自動車道音更帯広インターチェンジ周辺に工業団地を造成し、企業誘致を進めるなど、豊かな自然と快適な都市空間が調和した「住みよいまち」、「選ばれるまち」を目指し、協働のまちづくりに取り組んでいます。

“広大な土地”を意味するアイヌ語の「シュウウォロー」が訛って変化して名付けられたといわれている。



士幌高原ヌブカの里



Shihoro on ICE



しほろ7000人のまつり

■主なイベント

- しほろ7000人のまつり(8月) ○ホテル鑑賞会(8月)
- しほろ収穫祭(10月) ○Shihoro on ICE(2月)

■特産品

- しほろ牛 ○乳製品 ○シーベリー ○ミニトマト
- じゃがいも加工品(スナック菓子、コロック、片栗粉など)

■観光名所

- 士幌高原ヌブカの里 ○道の駅ピア21しほろ
- 道の駅しほろ温泉

清澄な水と空気、そして肥沃な大地。士幌町は自然の恵みに培われた実り豊かな純農村地帯で、じゃがいも、小麦、豆類、てん菜、スイートコーンなどの農産物が生産されています。また、肉用牛、乳用牛の飼育なども盛んです。士幌町では、今も未来も輝き続ける「しほろ」を目標とした「輝く未来へ しほろ創生」をテーマに町づくりを進めています。



奇跡の果実 シーベリー



イメ-ジ キャラクター 大地くん



しほろ収穫祭



しほろ牛剣先ステーキ



道の駅ピア21しほろ

昭和6年士幌村より分村し、士幌村の川上に位置していたため、「上士幌村」となった。



バルーンフェスティバル

■主なイベント

- バルーンフェスティバル(2・8月)

■特産品

- 十勝ナイタイ和牛 ○十勝ハーブ牛 ○十勝石工芸品
- ハチミツ ○ミルクジャム ○アイスクリーム
- 十勝石工芸品 ○ゼラート

■観光名所

- ナイタイテラス ○ぬかびら源泉郷
- 糠平湖 ○三国峠
- 旧国鉄士幌線コンクリートアーチ橋梁群(北海道遺産)
- 道の駅かみしほろ

大雪山国立公園内の糠平湖を取り囲む森林と山岳美、北海道遺産のアーチ橋梁群、熱気球の町として全国的に有名なまち。自動運転バス・ドローン配送等、ICTを取り入れた脱炭素化を積極的に進めています。

また、移住定住・ワーケーション・二地域居住・農林商工連携を推進し、ふるさと納税をはじめとした「都市と農村の交流と対流」のまちづくりのほか、基幹産業である酪農・畜産業の特性を活かし、バイオマス資源によるエネルギーの地産地消にも取り組んでいます。



ドローン配送実証実験



ナイタイテラス



タウシュベツ川橋梁(冬)



鹿追町

Data

郵便番号：081-0292
住所：鹿追町東町1丁目15番地1
TEL：0156-66-2311 FAX：0156-66-1020
URL：https://www.town.shikaoi.lg.jp/

アイヌ語の「クテクウシ」、「鹿を追う」という意味で、昔アイヌはこの土地の谷間に柵を設けて鹿の群れを追い込み、簡単に捕らえたといわれている。



然別湖



白蛇姫まつり

鹿追町の然別湖は道内一の標高を誇る湖で、夏は白蛇姫まつり・秋は山々の紅葉・冬はしかりべつ湖コタンで四季を通じて人々が訪れます。

本町は2050年に向けた「ゼロカーボンシティ」を宣言し、CO2の排出削減のため、家畜のふん尿を活用したバイオマス発電を中心に、次世代エネルギーの水素の活用や公共施設における太陽光発電の活用など、環境に配慮し持続可能な社会を目指した取り組みを進めています。令和4年4月には環境省の「脱炭素先行地域（第1回）」に選定され、全国に効果を波及させる脱炭素のモデル地域として、各種プロジェクトを推進しています。また、バイオマス発電で発生する余剰熱を活用した特産品の開発（マンゴーの栽培・チョウザメの養殖・ハウスでの野菜栽培）にも取り組んでいます。

教育では、特色ある英語教育として、姉妹都市のあるカナダをメインとする異文化理解と体験を盛り込んだ授業により、幼小中高13年間で「使える英語」と「国際的なコミュニケーション能力」を身に付けます。国際理解教育の集大成として、鹿追高校生の全員がカナダ・ストニブレイン町へ短期留学として訪問し、国際的な視野を広げます。また、本町は「とち鹿追ジオパーク」の認定を受けており、学校の授業でも環境教育に注力しています。地質サイトを訪れた自然体験学習などを通じ、楽しみながら地球環境について学んでいます。

■主なイベント

- しかりべつ湖コタン（1月下旬～3月中旬）
- しかおい花市(5月)
- 白蛇姫まつり(7月)
- しかおい花フェスタ(7月)
- 花火大会(7月)
- ふるさと産業まつり(9月)

■特産品

- そば
- 鹿追焼き(陶芸品)
- アイスクリーム ○チーズ
- 豚肉 ○オシロコマ

■観光名所

- 然別湖
- 然別峡
- 神田日勝記念美術館
- 福原記念美術館
- 鹿追町ライディングパーク
- ジオパーク・ビジターセンター



新得町

Data

郵便番号：081-8501
住所：新得町3条南4丁目26番地
TEL：0156-64-5111 FAX：0156-64-4013
URL：https://www.shintoku-town.jp/

アイヌ語で肘、山の突出部分を意味する「シットク」に由来しています。新得山が佐幌川の方に張り出している地形を表したものとされています。



新そば祭り

■主なイベント

- 桜まつり(5月)
- ワイワイビアパーティー(7月)
- サマーフェスティバル(8月)
- 花火大会(8月中旬～下旬)
- 新そば祭り(9月)
- 大雪まつり(10月)

■特産品

- 新得そば ○新得地鶏
- エゾ鹿肉
- そば焼酎
- ナチュラルチーズ
- 原木しいたけ

■観光名所

- 狩勝峠 ○トムラウシ温泉
- 旧狩勝線跡 ○サホロリゾート
- ベアマウンテン
- エコトロッコ鉄道



新得山の桜

新得町は北海道のど真ん中に位置し、美しく雄大な東大雪の山々と日高山脈に抱かれ、四季折々の風景や旬の食材を堪能できます。恵まれた自然を生かしたアクティビティも豊富で、キャンプや温泉はもちろん、夏季は乗馬やラフティング、冬季はスキーやアヴァント（穴を開けた湖を水風呂代わりにするフィンランド式サウナ）、ワカサギ釣りなど一年を通して自然を満喫することができます。また、鉄道交通の要所であるJR新得駅があり、在来線はもちろん特急列車も全て停車するため、札幌市や新千歳空港へもアクセスがとてよく交通の便に優れた町です。

特産品である「そば」は、新得町の昼は暖かく夜は涼しい内陸性の気候を活かして生産され、高品質な「そば」として全国的にも有名です。最も大きなイベントである「新そば祭り」は毎年9月に開催され、町内の出店者による「そば」を楽しもうと、2万人を超える来場者が訪れます。



清水町

Data

郵便番号：089-0192
住所：清水町南4条2丁目2番地
TEL：0156-62-2111 FAX：0156-62-5116
URL：https://www.town.shimizu.hokkaido.jp/

アイヌ語で「ベケレ・ペツ」（明るい川）、「ペ・ベケレ・ペツ」（水・清い・川）。「ベケレペツ」と称されたこの地は、明るく清らかな流れという意味の「清水」に意識されました。



日勝峠第1展望台

■主なイベント

- みかげふえすていばる（7月）
- 清流まつり（7月）
- 十勝清水にんにく肉まつり（10月）

■特産品

- 十勝若牛 ○黒にんにく ○豚丼名人
- 鶏卵 ○グリーンめん
- 飲むヨーグルト ○牛とろフレーク
- かぼちゃ野郎（パイ菓子）
- 第九のまちしみず（クッキー） など



円山展望台

■観光名所

十勝清水四景＋1

○清水公園（パークゴルフ場） ○日勝峠第1展望台 ○円山展望台（円山牧場内） ○美蔓パノラマパーク ○十勝千年の森

十勝平野の西部、日勝峠の麓に位置する道東の玄関口・清水町は、日高山脈に抱かれた豊かな大地と清らかな水の恵みを受け、小麦・豆类・てん菜や生乳などの生産が盛んな町です。それらを加工する工場も多く、戦前から続く農産加工の町でもあります。

地元産の牛肉・鶏卵を使った新・ご当地グルメ「十勝清水牛玉ステーキ丼」や、温かい白飯にフレーク状の牛肉「牛とろフレーク」をかけた牛とろ丼は有名で、「牛（9）」「とろ（16）」の語呂合わせから9月16日を「牛とろの日」として、日本記念日協会から認定されました。

町民の文化・スポーツ活動も盛んで、アイスホッケーの町として知られるほか、町民合唱団による「第九」の合唱は40年以上に渡って続けられています。また、大河ドラマにもなった渋沢栄一のゆかりの地としても知られています。

2022年に「開町120年」を迎え、第6期清水町総合計画で掲げた「まちに気づく まちを築く とかち清水～想いをミライへ繋ぐまち～」に向けてまちづくりを進めています。



芽室町

Data

郵便番号：082-8651
住所：芽室町東2条2丁目14番地
TEL：0155-62-2611 FAX：0155-62-4599
URL：https://www.memuro.net/

アイヌ語の「MEM・Oロ・ペツ」に漢字を当てたもので、「泉や池から流れてくる川」を意味している。



新嵐山展望台

■主なイベント

- 氷灯夜（ひょうとうや）（2月）
- 華音（7月）
- 発祥の地杯全国ゲートボール大会（8月）
- 収穫感謝祭（11月）

■特産品

- スイートコーン ○十勝芽室コーン炒飯
- じゃがいも ○ビートオリゴ糖
- ニジマス加工品 ○めむろごぼう
- めむろワイン ○MEMロピーナッツ

■観光名所

○新嵐山展望台 ○芽室公園

「日本の食料基地」と言われる十勝平野の中央に位置する芽室町は、肥沃な大地と気候条件に恵まれた農業を基幹産業とし、農畜産・林業関連企業を中心とした多くの企業が立地する東工業団地を有しています。また、町内には高速道のインターチェンジ（2箇所）や特急が停車するJRの駅もあり、交通アクセスに恵まれています。

芽室町では、“町民と行政の協働によるまちづくり”を掲げ、氷灯夜や発祥の地杯全国ゲートボール大会に代表される各種イベントや、町内産の農産物を活用した新しいグルメの創造やトウモロコシでの地域ブランディングなど、町民の主体的な地域活動を原動力とした取り組みが盛んに行われています。また、「芽室ジモト大学」では中・高校生を対象に地域を教材とし、地域と共に考動（こうどう）するプログラムを行い、中・高校生が考えたイベントが開催されるなどまちづくりにつながっています。

「みんなで創り みんなでつなぐ すっと輝くまち めむろ」の将来像の実現のため、さらなる住民サービスの向上に努め輝き続けるまち芽室を実現していきます。



清水町

Data

郵便番号：089-0192
住所：清水町南4条2丁目2番地
TEL：0156-62-2111 FAX：0156-62-5116
URL：https://www.town.shimizu.hokkaido.jp/

アイヌ語で「ベケレ・ペツ」（明るい川）、「ペ・ベケレ・ペツ」（水・清い・川）。「ベケレペツ」と称されたこの地は、明るく清らかな流れという意味の「清水」に意識されました。



日勝峠第1展望台

■主なイベント

- みかげふえすていばる（7月）
- 清流まつり（7月）
- 十勝清水にんにく肉まつり（10月）

■特産品

- 十勝若牛 ○黒にんにく ○豚丼名人
- 鶏卵 ○グリーンめん
- 飲むヨーグルト ○牛とろフレーク
- かぼちゃ野郎（パイ菓子）
- 第九のまちしみず（クッキー） など



円山展望台

■観光名所

十勝清水四景＋1

○清水公園（パークゴルフ場） ○日勝峠第1展望台 ○円山展望台（円山牧場内） ○美蔓パノラマパーク ○十勝千年の森

十勝平野の西部、日勝峠の麓に位置する道東の玄関口・清水町は、日高山脈に抱かれた豊かな大地と清らかな水の恵みを受け、小麦・豆类・てん菜や生乳などの生産が盛んな町です。それらを加工する工場も多く、戦前から続く農産加工の町でもあります。

地元産の牛肉・鶏卵を使った新・ご当地グルメ「十勝清水牛玉ステーキ丼」や、温かい白飯にフレーク状の牛肉「牛とろフレーク」をかけた牛とろ丼は有名で、「牛（9）」「とろ（16）」の語呂合わせから9月16日を「牛とろの日」として、日本記念日協会から認定されました。

町民の文化・スポーツ活動も盛んで、アイスホッケーの町として知られるほか、町民合唱団による「第九」の合唱は40年以上に渡って続けられています。また、大河ドラマにもなった渋沢栄一のゆかりの地としても知られています。

2022年に「開町120年」を迎え、第6期清水町総合計画で掲げた「まちに気づく まちを築く とかち清水～想いをミライへ繋ぐまち～」に向けてまちづくりを進めています。



芽室町

Data

郵便番号：082-8651
住所：芽室町東2条2丁目14番地
TEL：0155-62-2611 FAX：0155-62-4599
URL：https://www.memuro.net/

アイヌ語の「MEM・ORO・PETZ」に漢字を当てたもので、「泉や池から流れてくる川」を意味している。



新嵐山展望台

■主なイベント

- 氷灯夜（ひょうとうや）（2月）
- 華音（7月）
- 発祥の地杯全国ゲートボール大会（8月）
- 収穫感謝祭（11月）

■特産品

- スイートコーン ○十勝芽室コーン炒飯
- じゃがいも ○ビートオリゴ糖
- ニジマス加工品 ○めむろごぼう
- めむろワイン ○MEMロピーナッツ

■観光名所

○新嵐山展望台 ○芽室公園

「日本の食料基地」と言われる十勝平野の中央に位置する芽室町は、肥沃な大地と気候条件に恵まれた農業を基幹産業とし、農畜産・林業関連企業を中心とした多くの企業が立地する東工業団地を有しています。また、町内には高速道のインターチェンジ（2箇所）や特急が停車するJRの駅もあり、交通アクセスに恵まれています。

芽室町では、“町民と行政の協働によるまちづくり”を掲げ、氷灯夜や発祥の地杯全国ゲートボール大会に代表される各種イベントや、町内産の農産物を活用した新しいグルメの創造やトウモロコシでの地域ブランディングなど、町民の主体的な地域活動を原動力とした取り組みが盛んに行われています。また、「芽室ジモト大学」では中・高校生を対象に地域を教材とし、地域と共に考動（こうどう）するプログラムを行い、中・高校生が考えたイベントが開催されるなどまちづくりにつながっています。

「みんなで創り みんなでつなぐ ずっと輝くまち めむろ」の将来像の実現のため、さらなる住民サービスの向上に努め輝き続けるまち芽室を実現していきます。



中札内村

Data

郵便番号：089-1392
住所：中札内村東1条南1丁目2番地1
TEL：0155-67-2311 FAX：0155-68-3911
URL：https://www.vill.nakasatsunai.hokkaido.jp/

札内川の語源であるアイヌ語で「乾いた川」を意味する「サチナイ」と、その中流に位置するという意味。



ピョウタンの滝（札内川園地）

■主なイベント

- やまべ放流祭(7月第1日曜日)
- なかさつ音まちプロジェクトコンサート
- ロッカノヨル
- スノーアート(2月)

■特産品

- えだ豆、えだ豆加工品
- 若どり
- 朝採りたまご
- チーズ

■観光名所

- 札内川園地
- 六花の森
- 桜六花公園
- 花畑牧場
- 道の駅なかさつない



六花亭アートヴィレッジ
中札内美術村

日高山脈中央部を源とする清流・札内川流域に広がる「日本で最も美しい村」です。その清流を集め豪快に流れ落ちる「ピョウタンの滝」がある札内川園地は、滝周辺の豊富なマイナスイオンを浴びながら自然豊かな園内を散策できる癒しの空間です。毎年多くの観光客が訪れ、夏はキャンプ場としても賑わいをみせています。

柏林に囲まれる「六花亭アートヴィレッジ中札内美術村」には相原求一朗美術館や小泉淳作美術館などがあり、一日中芸術に親しむことができます。また、「道の駅なかさつない」は観光インフォメーション、情報コーナーのほか、レストランや物産販売所において新鮮な地元食材の提供を行っており、観光客の憩いの場となっています。

市街地から車で5分程のところには「六花の森」があり、ハマナシやエゾリンドウなどの草花が季節ごとに花開き、清らかな小川が流れる豊かな自然環境の中、ゆったりとした時間を過ごすことができます。



更別村

Data

郵便番号：089-1595
住所：更別村字更別南1線93番地
TEL：0155-52-2111 FAX：0155-52-2812
URL：https://www.sarabetsu.jp/

アイヌ語の「サラ・ベツ」で「葦や茅の生い繁るところ」を意味している。



霧氷

■主なイベント

- さらべつすももの里まつり(5月)
- 全日本ママチャリ耐久レース(7月)
- さらべつ大収穫祭(10月)
- イルミネーション(12月～2月)

■特産品

- つぶつぶでんぶん
- ポテトチップス
- すもものむヨーグルト
- さらべつさんうどん
- さらのうキーマ(レトルトカレー)

■観光名所

- 道の駅さらべつ「観光と物産の館ピポパ」
- 十勝スピードウェイ
- どんぐり公園(すももの里・パークゴルフ場等)
- さらべつカントリーパーク(オートキャンプ場)
- 農村公園(大型遊具)



すももの里

「北海道の背骨」と呼ばれる日高山脈が一望でき、緑の大地と十勝晴れの澄んだ青空がよく似合う十勝平野の真ん中にある更別村は、とちち帯広空港から車で約10分、東京へのフライトは1時間30分と、日帰りも可能な「首都圏域と隣接した田園」のイメージにピッタリの村です。

農家1戸当たりの耕作面積は約50ha、トラクター所有台数は約6台と国内最大規模の大型農業の村です。また、54ホール公認パークゴルフ場「プラムカントリー」、オートキャンプ場「さらべつカントリーパーク」、市街中心部にある大型遊具、ホテルやレストランのある「さらパーク」などの施設や、全国からカメラマンが訪れるほど幻想的な「霧氷」の美しいポイントがあります。



大樹町

Data

郵便番号：089-2195
 住所：大樹町東本通33番地
 TEL：01558-6-2111 FAX：01558-6-2495
 URL：https://www.town.taiki.hokkaido.jp/

アイヌ語で「大木が群生するところ」を意味する「タイキウシ」から命名されました。



北海道スペースポート (HOSPO)

■主なイベント

- 歴舟川清流こいのぼり (4月下旬～5月上旬)
- 歴舟川砂金掘探訪会 (7月下旬)
- 歴舟川清流まつり (8月上旬)
- 柏林公園まつり (9月中旬)

■特産品

- ナチュラルチーズ ○大樹だいこん ○じゅんさい
- 秋サケ ○毛ガニ ○シシャモ ○シジミ など

■観光名所

- カムイコタン公園キャンプ場 ○坂下仙境
- 晩成温泉 ○晩成社史跡公園 ○ホロカヤントー周辺
- 大樹町宇宙交流センターSORA など



歴舟川清流こいのぼり



砂金堀探訪会



カムイコタン公園



晩成温泉

十勝平野南部に位置し、東に太平洋、西に日高山脈を望むことができます。日高山脈からは日本一の清流に過去18度輝いた歴舟川がまちを流れ、太平洋沿岸には手つかずの原生花園や海が臨めるヨード泉の晩成温泉があります。農業(酪農・畜産・畑作)を中心に、漁業(サケ・マス・毛ガニ等)、林業を基幹産業として発展してきました。

また、大樹町が進める宇宙のまちづくりにおいては、北海道に航空宇宙産業が集積する宇宙版シリコンバレーの創造を目指し、商業宇宙港である北海道スペースポート(HOSPO)を整備しています。



広尾町

Data

郵便番号：089-2692
 住所：広尾町西4条7丁目1
 TEL：01558-2-2111 FAX：01558-2-4933
 URL：https://www.town.hiroo.lg.jp/

アイヌ語の「ピルイ」が語源といわれ、「ピ」は「石が転がる」、「ルイ」は「砥石がとれる地」という意味。



毎日がクリスマス「広尾サンタランド」

■主なイベント

- 広尾つつじまつり (5月中旬) ○十勝港海上花火大会 (8月上旬)
- サンタランドツリー点灯式 (10月下旬) ○広尾毛がにまつり (12月上旬)

■特産品

- 海産物(シシャモ・毛がに・鮭・昆布・ウニ・マツカワ ほか)
- 水産加工品(魚の一夜干し・珍味・イクラ・大トロいわし ほか)
- 農産物(牛肉・牛乳・鹿肉シビエ ほか)
- 町産木材「広尾サンタランド・ウッド」を使用した木工品

■観光名所

- 広尾サンタランド(大丸山森林公園) ○十勝神社(丸山公園)
- シーサイドパーク広尾(海洋博物館・キャンプ場)
- フンベの滝(黄金道路) ○サーフィンスポット



広尾町自慢の海の幸



十勝港海上花火大会



日高山脈を背にした十勝の海の玄関「十勝港」

太平洋や日高山脈などの豊かな自然に囲まれた十勝最南端のまち・広尾町は、2018年に開町150年を迎え十勝で最も歴史が古く、サンタクロースの故郷であるノルウェーから国外初・日本唯一の「サンタランド」に認定されています。

令和3年度からは「海・山・川が織りなす、希望が灯るサンタランド・ひろお」をキャッチフレーズとした「第6次広尾町まちづくり推進総合計画」に基づき、特色ある重点プロジェクトをはじめとする新しいまちづくりを進めています。



幕別町

Data

郵便番号：089-0692
住所：幕別町本町130番地1
TEL：0155-54-2111 FAX：0155-54-3727
URL：<https://www.town.makubetsu.lg.jp/>

アイヌ語の「マクウンペツ」が転訛したもので「山際を流れる川・後川」を意味している。



パークゴルフ



シーニックカフェちゅうるい

■主なイベント

- 忠類ナウマン全道そり大会(2月)
- パークゴルフ国際大会(6月)
- まくべつ夏フェスタ(7月)
- まくべつ産業まつり(10月)
- 忠類どんとこいむら祭り(10月)

■特産品等

- とろぶた(メンチカツ、ハンバーグ) ○十勝大福
- 黒豆きなこ ○食用ゆり根 ○和稔じょ
- インカのめざめ ○焼酎インカの目覚め ○ニラ
- 長ねぎ ○レタス

■観光名所

- 忠類ナウマン象記念館 ○シーニックカフェちゅうるい
- ピラ・リ(明野ヶ丘公園) ○丸山展望台
- 道の駅(忠類)
- 千代田新水路魚道観察室(ととろ〜ど) ○十勝ヒルズ

■その他

多数のオリンピック代表選手やプロスポーツ選手等を輩出。

幕別町は、「パークゴルフ」発祥の地、「ナウマン象」の化石骨が発掘された地として知られており、市街地を一步出ると、広大な農地と牛が草を食む風景、「北海道の背骨」と言われる日高山脈などの美しい景色を楽しむことができます。おいしい食べ物、おいしい水、おいしい空気の幕別町へぜひ足をお運びください。



池田町

Data

郵便番号：083-8650
住所：池田町字西1条7丁目11番地
TEL：015-572-3111 FAX：015-572-5158
URL：<https://www.town.hokkaido-ikeda.lg.jp/>

明治29年に鳥取藩主の池田侯爵が開設した池田農場が町名の由来となっている。



ワイン城



秋のワイン祭り

■主なイベント

- いけだ夏まつり(8月) ○秋のワイン祭り(10月)

■特産品

- 十勝ワイン・ブランデー ○いきがい焼き ○いけだ牛
- ネバリスター ○つくねいも

■観光名所

- ワイン城 ○DCT garden IKEDA
- 清見ヶ丘公園 ○千代田えん堤
- 十勝まきばの家

池田町はワインを中心とした町づくりを行っており、ブドウ栽培からこだわった「十勝ワイン」は、国内初の自治体ワインとして誕生しました。小高い丘に建つワイン城では、優しく、分かりやすく、ワインの知識を提供するため「五感に訴える観光」をテーマに、ガイドツアーや試飲セミナーなどを行っており、十勝ワインを「体感」することができます。

また、毎年10月第一日曜日に開催される「池田町秋のワイン祭り」は、北海道を代表する食イベントの一つとして知られています。会場では赤・白・ロゼの十勝ワインが飲み放題、道産牛の炭火焼き、池田町産牛の丸焼きが提供されます。



豊頃町

Data

郵便番号：089-5392
住所：豊頃町茂岩本町125番地
TEL：015-574-2211 FAX：015-574-3750
URL：https://www.toyokoro.jp/

「トエコロ」（大きなフキが生えていたところ）や「トイ・コロ」（土多く礫少ないところ）等のアイヌ語が語源とされています。



ジュエリーアイス

■主なイベント

- とよこ夏まつり(8月)
- 「海と大地の祭典」とよこ産業まつり(9月)

■特産品

- 大津産秋鮭
- わかさぎの佃煮
- 食肉加工品
- 酔い傾(むらさきいも焼酎)

■観光名所

- はるにれの木(十勝川河川敷)
- 長節湖
- 湧洞湖
- ジュエリーアイス(大津海岸、冬期間限定)
- 茂岩山自然公園林間キャンプ場
- 茂岩山パークゴルフ場
- とよこ物産直売所(5月上旬から11月中旬までの金・土・日)
- 長節湖キャンプ場

十勝川の最下流に位置する十勝発祥のまちです。町のシンボルとなっている樹齢150年の「はるにれ」は2本の木が一体化した美しい姿が人気で多くの観光客が訪れます。また、秋には「産業まつり」が開催され、海と大地の実りを大いに堪能できます。近年は大津海岸の「ジュエリーアイス」が注目を集めています。



とよこ産業まつり



とよこ物産直売所



はるにれの木



ジュエリーハウス



本別町

Data

郵便番号：089-3392
住所：本別町北2丁目4番地1
TEL：0156-22-2141 FAX：0156-22-3237
URL：https://www.town.honbetsu.hokkaido.jp/

アイヌ語の『ボン・ベツ(小さい川)』を語源とし、本別市街地で利別川と合流する本別川から名付けられました。

道の駅「ステラ★ほんべつ」では、本別町のゆるキャラ「元気くん」が入り口で多くの観光客を出迎え、町内特産品の販売や、観光情報を発信しています。また、道東自動車道のインターチェンジや、釧路方面と北見方面への分岐点もあり、道東圏と道央圏を結ぶ交通の要衝となっています。



義経の里本別公園

■主なイベント

- 本別山溪つつし祭り(5月)
- 夜でかけナイト(6月～9月)
- 樽生ビアー彩(7月)
- 本別きらめきタウンフェスティバル(8・9月)
- ツリーフェスティバル(10月)
- 豆まかナイト(1月)
- 道の駅ステラ★ほんべつ冬あかり(2月)

■特産品

- キレイマメ(豆製品ブランド)
- 生豆
- 豆加工品
- スイーツ
- 納豆
- 乳製品
- 肉・肉加工品

■観光名所

- 義経の里本別公園(ボート・交通公園ゴーカート・キャンプ場)
- 本別大坂(国道274号)から望む夜景
- 道の駅「ステラ★ほんべつ」



道の駅「ステラ★ほんべつ」



交通公園ゴーカート



豆まかナイト



きらめきタウンフェスティバル

アイヌ語の「エショロ・ペツ」、「沿って下る川」を意味し、釧路方面からこの川沿いに十勝や北見に出たというのが定説。



オンネトー

■主なイベント

- 足寄ふるさと盆踊り・両国花火大会(8月)
- オンネトー物語(9月)
- ウッドキャンドルナイト(1月)

■特産品

- 螺湾(らわん)ブキ
- 豆類 ○イチゴ
- チーズ

■観光名所

- オンネトー ○雌阿寒岳
- 足寄動物化石博物館
- あしよる銀河ホール21(道の駅)



螺湾(らわん)ブキ

足寄町は十勝の東北部に位置し、1,408.04km²の広い面積を有しています。この広大な大地では、東京ドーム約270個分の面積を持つ大規模草地理成牧場や独特の湖面の色彩が訪れた人を魅了するオンネトー、高さ2~3mにもなる螺湾ブキなど、豊かな自然が育まれています。

先人から継承した緑豊かな大地という貴重な財産を後世に継承しながら、町民全てが心穏やかな毎日を過ごせるよう、人と自然にやさしい地域社会を考えて様々な事業が推進され、活力ある町の基盤が整えられています。子どもも大人も、そしてお年寄りも、全ての人々が「この町に住んでいてよかった」「この町に生まれてよかった」「このままこの町に住み続けたい」と思える、ふれあいのあるまちづくりが進められています。

アイヌ語で「鹿のいる川」または「危ない高い川」という意味の「リクンベツ」に由来しているといわれている。



ふるさと銀河線りくべつ鉄道

■主なイベント

- しばれフェスティバル(2月) ○オフロードレース(5月、8月)
- ふるさと銀河線りくべつ鉄道まつり(7月)

■特産品

- 山菜(山ぶき、うど、ぎょうじゃにんにく他) ○りくべつ鹿カレー
- りくべつ鹿ジャーキーなどの鹿食品ブランド ○りくべつ低温殺菌牛乳
- しばれくん・つららちゃんおまんじゅう、おせんべい
- りくべつミルクのおあすけプリン

■観光名所

- ふるさと銀河線りくべつ鉄道 ○銀河の森天文台
- 銀河の森コテージ村



銀河の森天文台



しばれフェスティバル

陸別町は豊かな自然に恵まれた林業と酪農の街です。また、「寒さ」「星」をテーマとしたまちづくりに力を入れています。日本最大級の公開型望遠鏡を備えた「銀河の森天文台」では、星やオーロラなどに関する特色あるイベントが年間通して開催されており、多くの天文ファンの注目を集めています。

また、道の駅「オーロラタウン93りくべつ」に併設されている「ふるさと銀河線りくべつ鉄道」は、運転体験や、乗車体験などで、鉄道ファンだけでなく家族で楽しめる施設として注目を集めています。

浦幌町

Data

郵便番号：089-5692
 住所：浦幌町字桜町15番地6
 TEL：015-576-2111 FAX：015-576-2519
 URL：https://www.urahoro.jp/

アイヌ語の「オーラポロ」が転訛して浦幌となり、「オー」は川尻、「ラ」は草の葉、「ポロ」は大きいので「川尻に大きな葉が生育するところ」と言われている。



ふるさとのみのり祭り

■主なイベント

○ふるさとのみのり祭り(9月) ○うらほろマラソン

■特産品

○行者ニンニク加工品 ○鮭とば ○浦幌牛乳 ○ハマナスオーガニックコスメ

■観光名所

○うらほろ留真温泉 ○うらほろ森林公園 ○道の駅うらほろ
 ○昆布刈石展望台 ○豊北原生花園 ○Ouralaa park urahoro

浦幌町は帯広市と釧路市のほぼ中間の位置にあり、食糧自給率が約3,200%と1次産業が非常に豊かなまちです。地域に根ざした子どもたちの学びのプロジェクト「うらほろスタイル」事業の成果として、近年では20代において転入超過がみられており、未来に繋がる動きが展開されています。

また、首都圏の企業や企業人との連携が加速しており、持続可能な地域づくりに向けた新たな事業を進めています。



うらほろ留真温泉



昆布刈石展望台



uralaa park urahoro



rosa rugosa

十勝圏複合事務組合

Data

郵便番号：080-2464
 住所：帯広市西24条北4丁目1番地5
 TEL：0155-37-3491 FAX：0155-37-3494
 URL：https://tokachiken.hokkaido.jp/index.html

■主な所管事業

- 十勝圏の総合的な振興計画の策定及び施策の推進並びに地域の振興整備についての連絡調整に関する事務。
- 高等看護学院及び附属施設の設置、維持管理・運営に関する事務。
- 教育研修センターの設置、維持管理・運営に関する事務。
- 十勝市町村税滞納整理機構の設置、運営に関する事務。
- し尿処理施設の設置、維持管理・運営に関する事務。
- ごみ処理施設及び最終処分場の設置、維持管理・運営に関する事務。
- 十勝川流域下水道施設の維持管理・運営に関する事務。



帯広高等看護学院